



Chapter

4

2018年度の 成果

2018年度事業の状況	66
主要な非財務データ	68
主要な財務データ	70
会社情報	77

2018年度事業の状況

連結売上高
15,080 億円

営業利益
2,077 億円

営業利益率
13.8%



※1 2018年12月期より、以下の通り変更しています。
 ・ビューティケア事業を化粧品事業とスキンケア・ヘアケア事業に区分し、従来4区分としていた報告セグメントを5区分に変更しています。
 ・従来、スキンケア・ヘアケア製品に分類していた乾燥性敏感肌ケア「キュレル」を化粧品事業に、ヒューマンヘルスケア事業に分類していたメンズプロダクツ「サクセス」をスキンケア事業に、ヒューマンヘルスケア事業の販売組織を再編したため、前期の営業利益を組み替えています。
 ※2 為替変動の影響を除く実質増減率。 ※3 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高で算出。営業利益の構成比率はセグメント間取引除去前。
 ※4 セグメント間取引を含んでいます。

化粧品事業

2018年5月に発表した新成長戦略に基づき新ブランドポートフォリオを策定し、ブランドの選択と集中を行ないました。すでに、重点ブランドへの施策の集中やデジタルマーケティングへの移行を図り、特にカウンセリング化粧品の「SUQQU」や「RMK」、セルフ化粧品の「freeplus」や「キュレル」の売上が好調に推移しました。好調なアジアでは、中国を中心に売上は大きく伸長し、事業全体の営業利益も大きく改善しました。引き続き、この新成長戦略をしっかりと遂行していきます。

スキンケア・ヘアケア事業

スキンケア製品では、「ビオレ」が日本やアジア、「ジャーゲنز」が米州で順調に売上を伸ばしました。ヘアケア製品では、革新的な次世代型白髪ケア「リライズ」やヘアサロンブランド「オリベ」が好調に推移しましたが、シャンプー・コンディショナーは苦戦しました。営業利益は、日本やアジアのスキンケア製品の増収効果があった一方で、欧米の構造改革費用を計上したことなどにより低下しました。欧米での「モノづくり」体制の強化や商品の高付加価値化を進めていきます。

ヒューマンヘルスケア事業

基軸ブランドのベビー用紙おむつ「メリーズ」は、中国向けは苦戦しましたが、日本の消費者向けシェアが拡大し、インドネシア・ロシアでも伸長しました。生理用品「ロリエ」、蒸気の温熱シート「めぐりズム」も引き続き好調で、ビバレッジ「ヘルシア」は構造改革により収益性が改善しました。営業利益は、原材料価格の上昇、減価償却費などの増加等により、低下しました。ベビー用紙おむつ事業の再活性化策や中国でのeコマースの強化など事業のさらなる強化を図っていきます。

ファブリック&ホームケア事業

ファブリックケア製品では、基幹ブランドの衣料用洗剤「アタック」が堅調に推移するとともに、「フレアフレグランス」を改良し、柔軟仕上げ剤でのシェアを伸ばしました。ホームケア製品は、日本・アジアで引き続き堅調に推移しました。2018年度に買収したWashing Systems, LLC(米国)を中心に海外での業務品事業を強化しました。営業利益は、石化原材料等の価格上昇の影響等により減少しました。今後も付加価値の高い商品開発と豊かな暮らしへの提案を行なっていきます。

ケミカル事業

油脂製品では、アルコール誘導体が堅調に推移し、機能材料製品では、インフラ関連分野での拡販の貢献もあり、売上を伸ばしました。またスペシャルティケミカルズ製品では、ハードディスク関連製品が順調に推移しました。営業利益は、海外での油脂製品の伸長と高付加価値化により、最高益を更新しました。原料価格の変動に左右されない高付加価値製品の比率の向上や、環境負荷の低減に貢献するエコケミカル製品の強化に取り組んでいきます。

ケア・ヘアケア事業に組み入れたことにより、前期の売上高および営業利益を組み替えています。

主要な非財務データ

エコロジー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs ※7
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
環境	事業活動による環境負荷を最小化し、地球1個分の暮らしの実現に貢献									
	CO ₂ 排出量の削減率※1									
		(スコープ1・2)	▲28%	▲29%	▲30%	▲31%	▲32%	▲33%	▲35%	
		(全ライフサイクルベース)	▲15%	▲17%	▲14%	▲14%	—	▲17%	—	12 13
		(日本、全ライフサイクルベース)	▲16%	▲17%	▲16%	▲15%	—	▲18%	▲35%	
	水使用量の削減率※1									
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲38%	▲43%	▲42%	▲43%	▲39%	▲42%	▲40%	
		(全ライフサイクルベース)	▲18%	▲21%	▲17%	▲19%	—	▲21%	—	6 12
		(日本における消費者向け製品、製品使用時)	▲22%	▲24%	▲22%	▲24%	—	▲24%	▲30%	
	廃棄物等発生量の削減率※1									
		(花王グループ工場、オフィス全拠点)	▲27%	▲27%	▲25%	▲25%	▲32%	▲26%	▲33%	12
		“いっしょにeco”マーク表示製品売上比率※2	27%	28%	29%	29%	—	29%	—	6 9 12 13
		持続可能なパーム油の調達活動※3	—	PKO※3 ミルまで 追跡 完了※4	PKO※3 ミルまで 追跡 完了	PO※3 ミルまで 追跡 97% 完了	PO※3 ミルまで 追跡	PO※3 ミルまで 追跡 98% 完了	農園 まで 追跡	15
		持続可能な紙・パルプの調達比率※5	—	96%	99%	100%	—	100%	100%	15
	社会への環境コミュニケーションにより環境活動を推進									
	環境コミュニケーション累積人数※6	24万人	46万人	69万人	91万人	120万人	123万人	100万人	12	
SAICM推進活動を通して化学物質の適正な管理を推進し、持続可能な社会に貢献										
	花王優先評価物質の安全性要約書の公開件数	—	7件 (累計 7件)	3件 (累計 10件)	3件 (累計 13件)	3件	3件 (累計 16件)	累計 20件	3 12	
	ケミカル製品のGPS安全性要約書の公開件数	47件 (累計 77件)	12件 (累計 89件)	18件 (累計 107件)	18件 (累計 125件)	16件	16件 (累計 141件)	累計 150件	3 12	

※1 原単位(売上高)、2005年基準

※2 日本における消費者向け製品、“いっしょにeco”マーク表示基準を満たした製品の売上比率

“いっしょにeco”マーク:

www.kao.com/jp/corporate/sustainability/environment/statement-policy/eco-friendly-products/eco-together-logo/

※3 花王グループで使用するパーム油を農園まで追跡可能とする活動の進捗、PKO:パーム核油、PO:パーム油

※4 他社より購入せざるを得ない誘導体の中には、2015年末時点でミルまでのトレーサビリティが確認できていないものが残った

※5 花王製品で使用する再生紙または持続可能性に配慮した紙・パルプ、包装材料

※6 出張授業、工場見学、環境イベントなどを通じた啓発者数、2014年からの累積人数

※7 SDGsの17目標中、花王グループの取り組みが寄与する目標の番号



コミュニティ

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
健康	肥満・生活習慣病を予防・改善し、健康的な社会の実現に貢献									
	健康啓発人数※8	161万人	261万人	232万人	288万人	10万人	10万人	—	3	
衛生	感染症などを予防し、衛生的な社会の実現に貢献									
	清潔・衛生習慣に関する啓発人数※9	612万人	754万人	753万人	829万人	682万人	723万人	1,200万人	3 6 12	
高齢化	高齢者の生活を支援し、心身共に健やかに年を重ねられる社会の実現に貢献									
	ユニバーサルデザイン視点での改良品の累積数※10	2,066	2,876	3,585	4,666	—	5,658	—	12	
コミュニティとのパートナーシップ	社会的活動を通じて地域の人々のより良い暮らしに貢献									
	社員に対するボランティア活動や情報の提供件数	79件	71件	67件	50件	75件	33件	80件	17	
	社外向け情報発信を通じた啓発件数	71件	99件	59件	60件	70件	50件	80件		

※8 ウォーキング・内臓脂肪測定・歯磨き啓発イベント参加者数、QUPIO利用者数。2018年4月にQUPIO事業を売却したため2018年はQUPIO利用者数は対象外
QUPIO:100万人分に及ぶ経年の健診データの集積と、東京大学との共同研究で得られた知見をもとに、健康増進・生活習慣病予防をサポートするためのプログラム

※9 日本およびアジアにおける、おむつ、手洗い、洗髪、清掃、洗濯、初経に関する啓発(啓発サンプリングや教育セットの配布含む)の対象者数

※10 ユニバーサルデザイン視点での改良品とは、接しやすさ(Accessibility)、安全(Safety)、使いやすさ(Usability)などの視点から改良した製品を表す。改良実施率は、新製品・改良品アイテム全数(品)に占めるユニバーサルデザイン視点での改良品数(品)比率。2015年までは日本国内、2016年は日本および米州、2017年からは日本、米州、欧州(サロン、モルトンブラウン社を除く)が集計範囲

コーポレート・カルチャー

マテリアリティ	めざす姿	項目	実績				目標	実績	目標	SDGs
			2014	2015	2016	2017	2018	2020		
健全な事業活動	花王グループ全体への「正道を歩む」精神の浸透・定着									
	BCGテスト実施率	87.2%	96.4%	97.5%	97.1%	—	—※16	100%	16	
	重大なコンプライアンス違反件数※11	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
ダイバーシティ&インクルージョン推進	社員の多様性尊重による、社員が生み出す価値の最大化									
	女性管理職比率	27.6%	27.5%	25.4%※12	25.1%	—	27.3%	30%※13	5	
	女性管理職比率(日本)	10.1%	10.4%	13.1%※12	14.6%	—	18.4%	15%※13	5	
	ダイバーシティ・マネジメント力の強化: マネジャー研修の累積受講率(日本)	—	—	8.2%	55.7%	100%	94.0%	200%※14	10	
社員の健康づくりと安全な職場づくり	社員全員の健康意識(ヘルスリテラシー)、安全意識の向上									
	健康増進プログラム参加のべ人数	—	—	31,885人	36,259人	—	40,768人	35,900人	8	
	休業度数率※15	0.54	0.61	0.67	0.55	0.20	0.77	0.10以下	8	

※11 花王グループの業務運営における重大な法令違反を社内にて定義して管理

※12 グループ一体運営の推進に伴い、2016年にマネジメントの定義を見直し

※13 特に2020年目標として設定しているものではないが、次のマイルストーンとして速やかに達成したい目標

※14 2016年からのマネジャー研修の累積受講率

※15 100万のべ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(休業1日以上および体の一部または機能を失ったもの)

※16 BCG活動の見直しのため、2018年は未実施

主要な財務データ

ヒストリカルデータ

日本基準

	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2012年12月期	2012年12月期 (調整後)	2013年12月期
会計年度:						
売上高	1,184,385	1,186,831	1,216,096	1,012,595	1,220,359	1,315,217
事業別						
ビューティケア事業	547,944	533,514	537,938	444,425	537,814	570,268
ヒューマンヘルスケア事業	183,151	175,761	181,758	151,977	189,614	210,628
ファブリック&ホームケア事業	276,918	279,008	285,645	236,748	291,988	311,023
コンシューマープロダクツ事業計	1,008,013	988,283	1,005,341	833,150	1,019,416	1,091,919
ケミカル事業	207,834	231,997	247,635	208,071	236,473	261,192
消去	(31,462)	(33,449)	(36,880)	(28,626)	(35,530)	(37,894)
所在地別						
日本	918,499	912,443	925,339	720,789	933,767	959,405
アジア	—	—	—	159,857	160,005	199,655
アジア&オセアニア	131,699	152,361	173,588	—	—	—
米州	—	—	—	89,998	89,998	108,599
北米	79,200	80,328	85,397	—	—	—
欧州	111,158	112,123	117,005	110,519	110,519	134,168
消去	(56,171)	(70,424)	(85,233)	(68,568)	(73,930)	(86,610)
営業利益	94,034	104,591	108,590	101,567	111,791	124,656
親会社株主に帰属する当期純利益	40,507	46,738	52,435	52,765	53,107	64,764
資本的支出	44,868	49,101	47,178	41,929	—	63,687
減価償却費	84,778	81,380	79,798	59,788	—	77,297
キャッシュ・フロー	95,269	97,028	101,960	80,200	—	109,497
研究開発費	44,911	45,516	48,171	37,493	—	49,650
(売上高比率) (%)	3.8	3.8	4.0	3.7	—	3.8
広告宣伝費	86,359	81,082	82,209	67,045	—	86,406
(売上高比率) (%)	7.3	6.8	6.8	6.6	—	6.6
会計年度末:						
総資産	1,065,751	1,022,799	991,272	1,030,347	—	1,133,276
自己資本	565,133	528,895	538,030	582,699	—	628,709
従業員数(人)	34,913	34,743	34,069	33,350	—	33,054
1株当たり指標:						
1株当たり当期純利益(EPS)(円)	75.57	87.69	100.46	101.12	101.77	126.03
年間配当金(円)	57.00	58.00	60.00	62.00	—	64.00
純資産(円)	1,054.31	1,013.05	1,031.08	1,116.61	—	1,227.54
期中平均株式数(千株)	536,009	532,980	521,936	521,824	—	513,880
財務指標:						
売上高当期純利益率(%)	3.4	3.9	4.3	5.2	4.4	4.9
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	7.3	8.5	9.8	9.4	9.5	10.7
自己資本比率(%)	53.0	51.7	54.3	56.6	—	55.5

- 当社は2012年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、2012年12月期は、当社および3月決算であった連結対象会社は、2012年4月1日から12月31日までの9か月間を連結対象期間とし、12月決算であった連結対象会社は2012年1月1日から12月31日までの12か月間を連結対象期間としています。
- 2012年12月期(調整後)の数値は、当社および3月決算であった連結対象会社の業績を2012年1月1日から12月31日までの12か月間に調整した数値です。
- 米州、欧州のコンシューマープロダクツ事業については、2014年1月より関係会社間の商流を一部変更しています。
- 2012年3月期までアジア&オセアニアに含めていたオーストラリアおよびニュージーランドの売上高・営業利益は、2012年12月期より米州に組み替えています。
- セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでいます。
- 所在地別売上高は、花王グループ各社の所在地によって地域別に分類されており、地域間の内部売上高を含みます。
- 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日)等を適用し、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としています。
- キャッシュ・フロー=当期純利益+減価償却費-配当金
- 1株当たり当期純利益は、発行済株式の期中平均株式数を使用して計算しています。
- 1株当たり配当金は、各会計年度に属する日を基準日とする配当であり、期末日以後に支払われる配当金を含みます。
- 自己資本=純資産-非支配株主持分-新株予約権

(単位:百万円)

2014年12月期	2015年12月期
1,401,707	1,471,791
589,907	607,692
240,077	280,723
324,505	334,416
1,154,489	1,222,831
288,022	288,456
(40,804)	(39,496)
997,309	1,019,016
244,903	281,533
—	—
124,216	137,827
—	—
152,056	154,350
(116,777)	(120,935)
133,270	164,380
79,590	98,862
68,484	83,414
79,660	73,623
125,436	135,394
51,739	51,987
3.7	3.5
92,410	94,496
6.6	6.4
1,198,233	1,281,869
658,232	675,608
32,707	33,026
156.46	197.19
70.00	80.00
1,313.63	1,347.29
508,687	501,352
5.7	6.7
12.4	14.8
54.9	52.7

国際会計基準(IFRS)

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期
会計年度:				
EVA®(経済的付加価値)	58,557	73,357	90,394	93,530
売上高	1,474,550	1,457,610	1,489,421	1,508,007
営業利益	167,318	185,571	204,791	207,703
(営業利益率)(%)	11.3	12.7	13.7	13.8
税引前利益	166,038	183,430	204,290	207,251
当期利益	105,952	127,889	148,607	155,331
親会社の所有者に帰属する当期利益	105,196	126,551	147,010	153,698
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,672	184,307	185,845	195,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	(74,124)	(88,639)	(96,146)	(157,895)
フリー・キャッシュ・フロー	107,548	95,668	89,699	37,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	(20,773)	(95,043)	(53,244)	(108,579)
資本的支出	82,848	89,900	79,355	89,097
減価償却費及び償却費	57,423	51,116	54,508	60,662
研究開発費	52,699	54,567	56,703	57,673
(売上高比率)(%)	3.6	3.7	3.8	3.8
広告宣伝費	94,745	97,437	89,935	80,274
(売上高比率)(%)	6.4	6.7	6.0	5.3
会計年度末:				
資産合計	1,311,064	1,338,309	1,427,375	1,460,986
親会社の所有者に帰属する持分合計	680,996	679,842	806,381	822,360
親会社所有者帰属持分比率(%)	51.9	50.8	56.5	56.3
従業員数(人)	32,282	33,195	33,560	33,664
1株当たり指標:				
基本的1株当たり当期利益(EPS)(円)	209.82	253.43	298.30	314.25
年間配当金(円)	80.00	94.00	110.00	120.00
期末発行済株式数(自己株式含む) (千株)	504,000	504,000	495,000	488,700
期末株価(円)	6,255	5,541	7,619	8,154
財務指標:				
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE)(%)	16.1	18.6	19.8	18.9
資産合計税引前利益率(ROA)(%)	13.1	13.8	14.8	14.4

- 2016年12月期から国際会計基準(IFRS)を適用しています。
- フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー
- 資本的支出には、有形固定資産のほか、無形資産およびその他の非流動資産への投資を含みます。
- EVA®は、米国コンサルティング会社のスターン・スチュワート社の登録商標です。

主要な財務データ

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

前連結会計年度
(2017年12月31日)

当連結会計年度
(2018年12月31日)

資産	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当連結会計年度 (2018年12月31日)
流動資産		
現金及び現金同等物	343,076	265,978
営業債権及びその他の債権	216,507	223,102
棚卸資産	183,921	197,571
その他の金融資産	14,914	15,146
未収法人所得税	2,653	2,066
その他の流動資産	28,162	22,449
小計	789,233	726,312
売却目的で保有する非流動資産	147	—
流動資産合計	789,380	726,312
非流動資産		
有形固定資産	395,800	418,935
のれん	138,735	180,286
無形資産	16,829	46,549
持分法で会計処理されている投資	7,682	7,931
その他の金融資産	27,345	23,540
繰延税金資産	40,918	49,158
その他の非流動資産	10,686	8,275
非流動資産合計	637,995	734,674
資産合計	1,427,375	1,460,986
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	224,893	225,560
社債及び借入金	25,262	40,488
その他の金融負債	7,739	6,880
未払法人所得税等	34,255	34,198
引当金	4,822	2,873
契約負債等	17,296	18,387
その他の流動負債	107,404	102,452
流動負債合計	421,671	430,838
非流動負債		
社債及び借入金	95,322	80,339
その他の金融負債	10,091	9,506
退職給付に係る負債	64,694	84,552
引当金	10,617	12,175
繰延税金負債	435	2,864
その他の非流動負債	5,181	5,203
非流動負債合計	186,340	194,639
負債合計	608,011	625,477
資本		
資本金	85,424	85,424
資本剰余金	107,980	108,245
自己株式	(9,593)	(11,282)
その他の資本の構成要素	(12,315)	(30,029)
利益剰余金	634,885	670,002
親会社の所有者に帰属する持分合計	806,381	822,360
非支配持分	12,983	13,149
資本合計	819,364	835,509
負債及び資本合計	1,427,375	1,460,986

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年1月1日～2017年12月31日)	当連結会計年度 (2018年1月1日～2018年12月31日)
売上高	1,489,421	1,508,007
売上原価	(834,107)	(853,989)
売上総利益	655,314	654,018
販売費及び一般管理費	(452,666)	(444,845)
その他の営業収益	14,909	14,288
その他の営業費用	(12,766)	(15,758)
営業利益	204,791	207,703
金融収益	1,452	1,717
金融費用	(3,960)	(4,251)
持分法による投資利益	2,007	2,082
税引前利益	204,290	207,251
法人所得税	(55,683)	(51,920)
当期利益	148,607	155,331
当期利益の帰属		
親会社の所有者	147,010	153,698
非支配持分	1,597	1,633
当期利益	148,607	155,331
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	298.30	314.25
希薄化後1株当たり当期利益(円)	298.09	314.12

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年1月1日～2017年12月31日)	当連結会計年度 (2018年1月1日～2018年12月31日)
当期利益	148,607	155,331
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	1,166	(2)
確定給付負債(資産)の純額の再測定	21,260	(15,524)
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	317	(345)
純損益に振り替えられることのない項目合計	22,743	(15,871)
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	8,541	(16,140)
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	(1)	(73)
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	8,540	(16,213)
税引後その他の包括利益	31,283	(32,084)
当期包括利益	179,890	123,247
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	178,020	122,324
非支配持分	1,870	923
当期包括利益	179,890	123,247

主要な財務データ

連結持分変動計算書

前連結会計年度(2017年1月1日～2017年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分
2017年1月1日残高	85,424	107,648	(57,124)	911	(29,761)	4
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	8,221	(0)
当期包括利益	—	—	—	—	8,221	(0)
自己株式の処分	—	—	49,373	(165)	—	—
自己株式の取得	—	—	(1,842)	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	332	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分の変動	—	(0)	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	(15)	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	332	47,531	(180)	—	—
2017年12月31日残高	85,424	107,980	(9,593)	731	(21,540)	4

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	合計				
2017年1月1日残高	7,025	—	(21,821)	565,715	679,842	11,621	691,463
当期利益	—	—	—	147,010	147,010	1,597	148,607
その他の包括利益	1,472	21,317	31,010	—	31,010	273	31,283
当期包括利益	1,472	21,317	31,010	147,010	178,020	1,870	179,890
自己株式の処分	—	—	(165)	(48,914)	294	—	294
自己株式の取得	—	—	—	—	(1,842)	—	(1,842)
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	332	—	332
配当金	—	—	—	(50,265)	(50,265)	(369)	(50,634)
子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	(0)	—	(0)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	(7)	(21,317)	(21,339)	21,339	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	(139)	(139)
所有者との取引等合計	(7)	(21,317)	(21,504)	(77,840)	(51,481)	(508)	(51,989)
2017年12月31日残高	8,490	—	(12,315)	634,885	806,381	12,983	819,364

当連結会計年度(2018年1月1日~2018年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分
2018年1月1日残高	85,424	107,980	(9,593)	731	(21,540)	4
当期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	(15,492)	(5)
当期包括利益	—	—	—	—	(15,492)	(5)
自己株式の処分	—	(99)	48,345	(167)	—	—
自己株式の取得	—	—	(50,034)	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	364	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	(18)	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	265	(1,689)	(185)	—	—
2018年12月31日残高	85,424	108,245	(11,282)	546	(37,032)	(1)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定	合計					
2018年1月1日残高	8,490	—	(12,315)	634,885	806,381	12,983	819,364	
当期利益	—	—	—	153,698	153,698	1,633	155,331	
その他の包括利益	(338)	(15,539)	(31,374)	—	(31,374)	(710)	(32,084)	
当期包括利益	(338)	(15,539)	(31,374)	153,698	122,324	923	123,247	
自己株式の処分	—	—	(167)	(47,961)	118	—	118	
自己株式の取得	—	—	—	—	(50,034)	—	(50,034)	
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	364	—	364	
配当金	—	—	—	(56,793)	(56,793)	(746)	(57,539)	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	(1,694)	15,539	13,827	(13,827)	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	(11)	(11)	
所有者との取引等合計	(1,694)	15,539	13,660	(118,581)	(106,345)	(757)	(107,102)	
2018年12月31日残高	6,458	—	(30,029)	670,002	822,360	13,149	835,509	

主要な財務データ

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

前連結会計年度
(2017年1月1日～2017年12月31日)

当連結会計年度
(2018年1月1日～2018年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前利益	204,290	207,251
減価償却費及び償却費	54,508	60,662
受取利息及び受取配当金	(1,295)	(1,578)
支払利息	1,339	1,256
持分法による投資損益(益)	(2,007)	(2,082)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	3,111	4,531
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	(3,464)	(12,591)
棚卸資産の増減額(増加)	(15,349)	(15,677)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	14,637	3,951
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(30,886)	20,740
その他	14,476	(21,437)
小計	239,360	245,026
利息の受取額	1,069	1,273
配当金の受取額	2,047	2,312
利息の支払額	(1,329)	(1,293)
法人所得税等の支払額	(55,302)	(51,708)
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,845	195,610

投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出	(26,673)	(26,768)
定期預金の払戻による収入	25,349	26,987
有形固定資産の取得による支出	(83,663)	(80,295)
無形資産の取得による支出	(6,273)	(7,703)
企業結合による支出	(2,906)	(73,915)
その他	(1,980)	3,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	(96,146)	(157,895)

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増減額(減少)	(59)	230
長期借入による収入	30,000	—
長期借入金の返済による支出	(30,090)	(67)
社債の発行による収入	—	25,060
社債の償還による支出	—	(24,939)
自己株式の取得による支出	(1,842)	(50,035)
支払配当金	(50,299)	(56,838)
非支配持分への支払配当金	(369)	(745)
その他	(585)	(1,245)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(53,244)	(108,579)

現金及び現金同等物の増減額(減少)	36,455	(70,864)
現金及び現金同等物の期首残高	303,026	343,076
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	3,595	(6,234)
現金及び現金同等物の期末残高	343,076	265,978

会社情報

(2018年12月31日現在)

会社概要

会社名	花王株式会社
本社所在地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目14番10号
創業	1887年6月19日
設立	1940年5月21日
資本金	85,424,265,916円
従業員数	7,655名(花王グループ33,664名)
子会社	117社(うち海外96社)
関連会社	6社
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

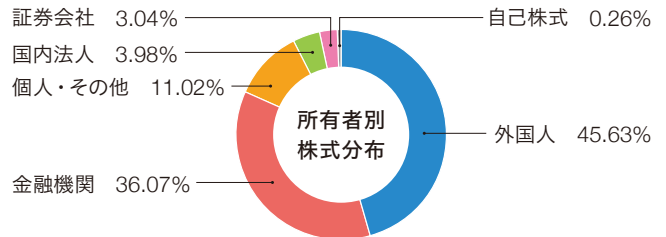
株式情報

上場証券会社	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	4452
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	488,700,000株
株主数	58,077名
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,134	9.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,953	6.97
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	13,664	2.80
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	13,340	2.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	9,531	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	9,072	1.86
ステートストリートバンクウェストクライアントトリーティー 505234	8,374	1.72
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	7,717	1.58
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,388	1.52
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001	6,915	1.42

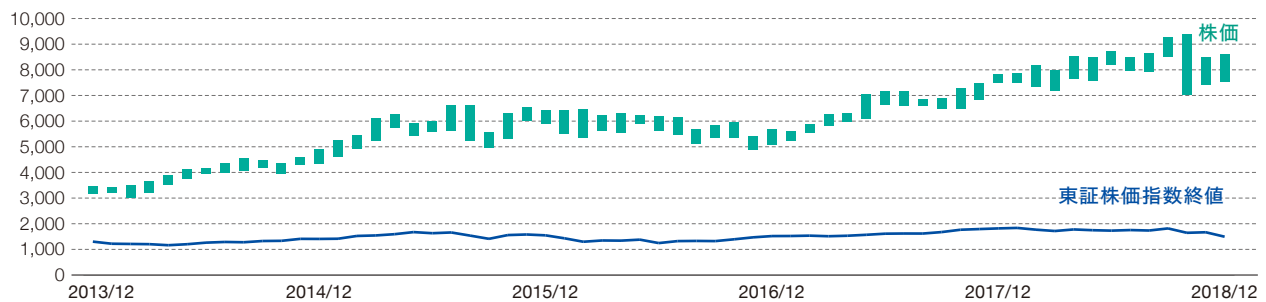
(注) 1. 上記の株主の持株数には、信託業務または株式保管業務に係る株式数が含まれている場合があります。
2. 上記の株主の持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除した数を基準にして計算しています。



2018年9月14日に自己株式6,300千株の消却を行いました。

株式の状況(東京証券取引所)

株価の推移(円)



売買高の推移(百万株)

